

ネパール地震の現地報告

ネパール日本協力会
代表 ジギャン クマル タバ
2015年6月28日



ジギャン クマル タバ と エソダ バスネット

この度はネパール大地震の被災者緊急支援にご協力いただきありがとうございました。日本の皆様には救援物資、義援金や飛行機の超過荷物料金免除、お見舞いのメッセージなど、私はあらゆる分野で背中を押して戴き、5月8日にタイのバンコクを経由してカトマンズに入りました。10日間の滞在中、被災した6郡に支援物資や活動資金を届けることができました。妻のエソダは6月22日～7月8日まで、私は再び9月下旬に現地を訪問する予定です。



ロゴができました。

I.被害状況



シンドゥパルチョク郡の倒壊した学校

4月25日に首都カトマンズから西にあるゴルカ郡を震源地とするマグニチュード7.8の地震が発生、続いて5月12日には東のシンドゥパルチョク郡を震源とするマグニチュード7.3の余震が発生しました。70万戸以上の家屋が全半壊、死者も9,000人近くにのぼりました。ネパールには75郡がありますが、うち36郡に死者が出るなど被害は広範囲に広がりました。学校は5,000校が全壊、100万人が学校に通えない非常事態となっています。

II.支援活動

カトマンズから北西に100km離れたダディン郡のトリプレシヨール村で、最下層とされるダリットの方などに米、塩、油、スープ用のレンズ豆などの食糧、テント用のビニールシートと、これからの季節に不可欠な蚊帳(かや)を届けました。政府は国際機関などから預かった支援物資をさらに奥地にヘリコプターで運んでいるそうです。しかし郡庁所在地と僻地の間にある村々にはまだ支援物資が行き届いておらず、NGOなどの活動が期待されます。今回の活動は以前、日本に留学したことのある方々の団体がコーディネートして実現しました。川を渡り山を越え2時間もかけて物資を取りに来られた方々もいました。勇気づけられたと喜んでいました。皆様のご支援のおかげです。どうもありがとうございます



ダディン郡で支援物資を待つ人々

III.雨期が心配

ネパールは6月から8月下旬まで雨期になります。5月でもスコールが降ったあとは写真のように水溜まりができていました。被災した脆弱な家に雨水が入り、倒壊の恐れがあるほか、テント生活の人々が雨期を乗り越えることができるかも心配です。ネパール政府は、一家族当たり12枚のトタンを購入できる18,000円の支援金の支出を決めましたが、まだ実現できないまま雨期が始まり、政府の後手後手の対応も非難の対象となっています



雨上がりのサンク村、道路にできた水溜まり

IV.生活再建が必要

暫くは緊急支援としての食糧やトタンなどが必要ではありますが、援助に慣れてしまわないためにも、元々の生業に戻れるための支援が必要だと感じました。右の写真にある仕立屋さんのミシンは地震で壊れています。直せるものは直し、購入する資金を援助するだけで仕事に復帰できるので、今後はこうした生活再建への支援を現地と連絡を取りながら考えたいと思います。



V.主な支援内容

これまで 225 件の義援金をいただき計：4,645,210 円が集まっております。ありがとうございます。皆様のお気持ちは以下の 3 つの方法で 6 月 23 日現在約 1,726,349 円を現地に届けており、引き続き必要な物資を現地調達、及び学校の仮設校舎建設、文房具などの教育環境を整えるために支援して参ります。

1. 日本からの物資を提供	2. 現地で調達し提供	3. 地元 NGO などに資金提供
		
<p>保存食、衛生用品、粉ミルク、テント、タオル、消毒液、飲料水用キット、ヘルメット、防災ラジオ、ソーラー充電器、マスク、懐中電灯、</p>	<p>お米、テント、塩、油、毛布、蚊帳、ラジオ、電池、ネパールの保存食（チウラ）、豆類、筆記用具、ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● BibekSheel Nepali (緊急物資提供) ● WOREC NEPAL (女性支援) ● REVIVE TEAM NEPAL (仮設校舎建設) ● Youth Movement for Motherland (食糧支援) ● Dholahiti YC (物資運搬) ● Shree Janata Primary School (小学校) ● Dolakha 郡小学校 5 校
<p>上記の 3 つの方法のうち、「1. 日本からの物資提供」は震災の関税免除期間が終了し、輸送料・税金の経費がかかるため、今後は 2, 3 を中心に実施する予定です。また地震でストップした学校が再開しても、仮設校舎ができておらず危険な状況で勉強を余儀なくされる子どもたちがいます。仮設校舎を建てる地元の NGO を支援、児童・生徒のための文房具などの支援も引き続き続けて参ります。息の長い支援が必要となりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>		

ネパール日本協力会の体制	今後のご支援について
<p>ネパールの蛋白質が足りない子供たちに卵を食べてもらう活動をしていた「卵プロジェクト」。そこでお世話になった方々やネパールの元留学生の数名が、ネパール大地震の支援活動メンバーとして活動してくださっています。とても心強いです。ありがとうございます。詳細は報告会で改めてお伝え致します。</p>	<p>〈お振込先〉 ゆうちょ銀行 店名:028 口座番号: 0139630 普通預金 名義:ネパール日本協力会</p>

報告会開催のご案内

2015年7月25日(土) 15:00~17:00 (14:30開場)

入場料: 1000円(ネパールティー付) 当日受付で申し受けます。

会場: 東京都 港区 芝浦 1-2-2 シーバンプ・ア・モール2F マンディール

報告者: ジギャン クマル タパ、エソダ バスネット他

事前予約: nepaljishin2015@hotmail.com

アクセス: JR浜松町駅 徒歩5分、ゆりかもめ日の出駅 徒歩3分